

## 浅川の阿弥陀堂

山梨県南都留郡富士河口湖町浅川

浅川は河口湖の北東湖畔に位置し、現在は旅館街となっている。その旅館街の裏手の小高い場所に阿弥陀堂がある。

当地に住んでいた外川弥兵衛の家に聖人が逗留された際、その教えに触れた弥兵衛は、「釈浄心」と法名を与えられた。後年、聖人から浄心へ手紙が送られた。その手紙が如来寺にある。しかし聖人直筆のものかどうか信憑性は分からない。代々、消失を恐れて書写し伝えてきたものではないかと如来寺の住職は言われた。現在、外川家に文献などは残っていないようだ。

このお堂では、毎年8月28日、如来寺により報恩講が勤められている。浅川の住民のほとんどが如来寺の門徒である。

### 銀杏

お堂の傍にそびえる2本の銀杏には、聖人がこの地で休憩した際、箸を土に挿したものが成長したという伝説があり、歴史散策コースにもなっているようである。



浅川の阿弥陀堂